## 資料 1

## 「やまがた科学技術政策大綱」の

重点推進方策に係る主な事業について
## 1 山形の「強み」を生み出す研究開発の推進

## ＜施策 $1>$ 産業の活力と暮らし向上につながる研究開発の推進

有機エレクトロニクス，超精密加エ，バイオテクノロジー，新品種開発など県内産業の活力と暮ら し向上につながる研究開発を推進
○有機エレクトロニクス関連産業集積促進事業 $(462,280)$ 有機 EL照明パネルの製品開発への支援や，山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター運営支援等
○超精密技術融合プロセス開発事業費 $(4,012)$ 超精密加工プロジェクトの成果とMEMS 技術等を融合した新たな加工技術•工程の開発
○やまがた発酵食品産業振興事業 $(4,885)$ 米，果物，畜肉等に付加価値をもたらす発酵食品の開発
○先端生命科学研究所教育研究支援事業 $(350,915)$ 慶應義塾大学先端生命科学研究所における教育研究活動の支援
○オリジナル新品種開発事業（ 21,160 ）水稲，オウトウ，セイヨウナシ，リンゴ，リンドウ，イチゴ の県オリジナル品種開発
○園芸作物基盤技術開発事業 $(22,411)$ 園芸作物の高品質生産，安定生産技術，農薬使用の少ない生産技術等の開発
○地球温暖化対応プロジェクト総合戦略事業（16，774）地球温暖化に対応したビジョンに基づく，気象変動に対応した技術開発及び確立された技術や開発品種等の生産現場での実証，普及定着
○環境と調和した農業技術開発事業（ 14,107 ）県農産物の安全性確保や環境負荷軽減を図るための技術開発
○衛生研究所調查研究•研修費（ 14,667 ）病原体の疫学調査•研究，結核菌の遺伝系統解析，つつが虫病の解析等

## ＜施策 $2>$ 実用化を見据えた効率的•効果的研究展開

分野横断的な研究の連携•協動を進めるほか，実用化を見据えた研究開発全体のマネジメントを推進する
○研究開発推進基盤構築事業（ 58,233 ）（公財）山形県産業技術振興機構に対する運営支援，産学官連携による研究開発コーディネートの推進
○自動車関連産業共同開発促進事業費（ 14,268 ）自動車メーカー等のニーズに対応した県内企業にお ける製品開発等の支援
○バイオクラスター形成促進事業費（ 7,081 ）先導的なバイオ研究成果の活用促進のための関係機関の連携強化•共同研究や研究者の交流推進

## ＜施策3＞県試験研究機関のマネジメント機能の拡充

## 県試験研究機関のマネジメント機能の充実

○科学技術総合推進事業（のうちの一部）（ 3,152 ）科学技術会議，研究評価委員会，アドバイザリー ボード等の開催

## 2 科学技術を支える人材の育成•養成 く施策 4 ＞地域の産業や自然を活かした多彩な科学教育の推進

次代の科学技術を担う子ども達を育成するため，段階に応じた科学教育，産業教育を効果的に推進 するとともに，科学教室や科学イベント等を開催する
○未来の科学人材育成事業（1，952）サイエンス・ナビゲーターの派遣，夏休み親子科学教室の開催，

科学教室サポーター養成講座の開催
○山形県産業科学館管理運営（73，933）産業科学館の施設等管理および利用促進のための整備
○スーパーサイエンスハイスクール支援事業費（ 3,547 ）スーパーサイエンスハイスクール指定校に対 する非常勤講師や事務員の配置支援
○産業短期大学校の管理運営（ 305,803 ）産業短期大学校（山形校，庄内校）の管理運営，設備整備 に要する経費
○農業大学校教務費（ 15,999 ）農業の担い手として実践的な農業技術等を備えた人材育成

## ＜施策5＞若手研究者等の育成，研究リーダーの発掘

## 若手研究者•技術者の育成や研究リーダーの発掘•育成

○若手チャレンジ研究事業費（ 1,200 ）能力向上に向けた若手研究者への研究機会の提供
○工業技術センター試験研究費（高度技術者育成事業）（ 1,009 ）産業技術総合研究所および京都工芸繊維大学，富山県総合デザインセンターへの職員の派遣
○科学技術総合推進事業費【再掲】（378）科学技術奨励賞による若手研究者の表彰や外部公募研究の推進による若手研究者の意欲向上と中核研究者の確保に資する事業
○次世代ものづくり人材育成促進事業費 $(5,451) ~($ 公財）山形県産業技術振興機構に，県と協調して人材育成を担うコーディネーターを配置

## ＜施策 $6>$ 技術移転•事業化を促進する人材の育成

技術移転•事業化を促進する人材の育成と技術移転•事業化を生み出す環境づくり
○技術者養成事業費（ 6,734 ）企業技術者のより高度な技術習得を目指し，基礎から応用に至る生産技術に直結する研修を行う
○自動車関連部品開発人材育成事業費（1，937）県内自動車産業関連企業の自社技術による部品の開発•提案に係るスキル修得のための研修の実施
○ものづくり産業マネジメント人材育成事業費（2，453）県内中小企業の経営者•管理者を対象に，知識やスキルの習得，課題に対処する思考の鍛鍊等を目的とした研修の実施
○農業大学校生涯教育機能強化事業費（ 15,387 ）UIターンにより新規就農を目指す若者や団塊世代等への必要な研修，高度な技術や知識の習得を目指す農業者に対する研修等の実施
○学会•大会等誘致促進事業（ 3,363 ）県関係団体と連携したコンベンション主催団体への支援など実施，コンベンション誘致活動等

## 3 知的財産の戦略的な活用の促進

## ＜施策7＞知的創造サイクルの普及•拡大

## 知的財産の活用による産業の活性化を図るため，知的創造サイクルの普及を図る

○知的財産の創出•活用推進事業 $(2,549)$ 県知的財産管理審査委員会の運営と知財の一元管理
○発明奨励活動等推進事業費（発明奨励活動等支援事業）（4，815）（一社）山形県発明協会に対し，発明奨励活動等推進事業費補助金を交付

## ＜施策 $8>$ 知的創造サイクルを支える人材の育成

知的財産の活用による産業の活性化を図るため，知的創造サイクルの普及を担う人材の育成を図る
○発明奨励活動等推進事業費【再掲】（発明奨励活動等支援事業）（4，815）（一社）山形県発明協会に対し，発明奨励活動等推進事業費補助金を交付

## 1 山形の「強み」を生み出す研究開発の推進

## ＜施策1＞産業の活力と暮らし向上につながる研究開発の推進

有機エレクトロニクス，超精密加エ，バイオテクノロジー，新品種開発など県内産業の活力と暮ら し向上につながる研究開発を推進
○【継続】有機エレクトロニクス関連産業集積促進事業（422，097）有機EL照明パネルの製品開発 への支援•有望市場開拓活動の展開，山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンターの運営•製品開発支援など
〇【継続】先端生命科学研究所教育研究支援事業 $(350,100)$ 先端生命科学研究所への教育研究活動を支援，第 4 期支援に係る研究成果等の評価
－【新規】次世代基幹産業創生事業 $(38,670)$ 合成クモ糸の事業化推進に向けた支援策調査，新素材 の評価と分析技術に向けた装置類の整備
－【組替新規】エネルギー関連技術研究開発事業（ 6,481 ）再生可能エネルギー分野のシリコン加工と ペレットストーブ関連技術，省エネ分野の各種センサ開発とデータ処理および解析技術の開発
－【継続】オリジナル新品種開発事業（ 20,231 ）水稲，オウトウ，セイヨウナシ，リンゴ，リンドウ， イチゴについて新品種開発に継続して取り組む
○【一部新規】園芸作物基盤技術開発事業（ 30,421 ）園芸作物の高品質生産，安定生産技術，農薬使用の少ない生産技術等の開発。研究課題 14 課題を実施（バラの局所加温と炭酸ガス施用技術他）。
－【新規】農業と太陽光発電両立実証事業（ 22,556 ）日照量が少ない条件で生育可能な植物の上部空間に太陽光パネルを設置し，農業と発電の両立を実証
○【継続】地球温暖化対応プロジェクト総合戦略事業（ 18,465 ）地球温暖化に対応したビジョンに基 づく，気象変動に対応した技術開発及び確立された技術や開発品種等の生産現場での実証，普及定着。研究課題 11 課題を実施

## ＜施策2＞実用化を見据えた効率的•効果的研究展開

分野横断的な研究の連携•協働を進めるほか，実用化を見据えた研究開発全体のマネジメントを推進する（＊：基金予算額）
－【継続】研究開発推進基盤構築事業（59，443）（公財）山形県産業技術振興機構に対する運営支援，産学官連携による研究開発コーディネートの推進
－【拡充】やまがた地域産業応援基金（ $120,000 *$ ）（公財）山形県産業技術支援機構による研究開発支援。自動車•航空機産業関連分野，超精密技術，有機EL，再生可能エネルギー関連分野を重点支援。
－【拡充】バイオクラスター形成促進事業費（ 29,375 ）バイオイノベーション促進事業を統合。專門的なコーディネーターの配置や先導的なバイオ研究成果の活用促進のための関係機関の連携強化•共同研究や研究者の交流推進

## ＜施策3＞県試験研究機関のマネジメント機能の拡充

県試験研究機関のマネジメント機能の充実
－【継続】科学技術総合推進事業（のうちの一部）（ 3,128 ）科学技術会議，研究評価委員会，アドバ イザリーボード等の開催

## 2 科学技術を支える人材の育成•養成

＜施策4＞地域の産業や自然を活かした多彩な科学教育の推進
次代の科学技術を担う子ども達を育成するため，段階に応じた科学教育，産業教育を効果的に推進

## するとともに，科学教室や科学イベント等を開催する

○【継続】未来の科学人材育成事業（406）サイエンス・ナビゲーターの派遣や県内の科学教室に関係 する機関•団体等と連携し，子どもの「科学する心」の醸成を図る取組みを効果的に実施する
〇【継続】山形県産業科学館管理運営（77，746）産業科学館の施設等管理及び利用促進のための整備
○【継続】スーパーサイエンスハイスクール支援事業費（ 3,802 ）スーパーサイエンスハイスクール指定校に対する非常勤講師や事務員の配置支援の継続と「科学の甲子園山形県大会」の開催
〇【継続】産業短期大学校の管理運営費（297，184）産業短期大学校（山形校，庄内校）の管理運営，設備整備に要する経費
〇【継続】農業大学校教務費（ 17,742 ）農業の担い手として実践的な農業技術等を備えた人材育成

## ＜施策5＞若手研究者等の育成，研究リーダーの発掘

若手研究者•技術者の育成や研究リーダーの発掘•育成
〇【継続】若手チャレンジ研究事業費（ 1,200 ）能力向上に向けた若手研究者への研究機会の提供， 5課題採択予定
〇【継続】工業技術センター試験研究費（高度技術者育成事業）（ 1,008 ）東北大学及び産業総合研究所（つくば）～職員各 1 名派遣予定
○【継続】科学技術総合推進事業費【再掲】（ 3,128 ）科学技術奨励賞による若手研究者の表彰や外部公募研究の推進による若手研究者の意欲向上と中核研究者の確保に資する事業
○【継続】次世代ものづくり人材育成促進事業費（5，362）次世代産業人材育成推進委員会開催及び人材育成を担うコーディネーターの配置等

## ＜施策 $6>$ 技術移転•事業化を促進する人材の育成

## 技術移転•事業化を促進する人材の育成と技術移転•事業化を生み出す環境づくり

○【継続】技術者養成事業費（ 6,624 ）企業技術者のより高度な技術習得を目指し，基礎から応用に至 る生産技術に直結する研修を 10 課題程度行う
○【組替新規】自動車関連部品開発人材育成事業費（6，639）県内自動車関連企業における部品の開発•提案に係るスキル研修（専門技術研修，資質向上研修等）の実施
○【継続】ものづくり産業マネジメント人材育成事業費（ 2 ，453）県内中小企業の経営者•管理者を対象に，知識やスキルの習得，課題に対処する思考の鍛錬等を目的とした研修の実施
○【継続】農業大学校生涯教育機能強化事業費（19，669）新規就農者の確保•育成や創造性豊富な農業経営者の育成のため，研修部における学びや地域をつなぐ「生涯教育センター的機能」の強化を図る
○【継続】学会•大会等誘致促進事業（7，036）県関係団体と連携したコンベンション主催団体への支援など実施，コンベンション誘致活動等

## 3 知的財産の戦略的な活用の促進

## ＜施策7＞知的創造サイクルの普及•拡大

知的財産の活用による産業の活性化を図るため，知的創造サイクルの普及を図る
－【継続】知的財産の創出•活用推進事業（1，691）県知財審査運営と一元管理
○【継続】発明奨励活動等推進事業費（発明奨励活動等支援事業）（4，822）（一社）山形県発明協会に対し，発明奨励活動等推進事業費補助金を交付

## ＜施策 $8>$ 知的創造サイクルを支える人材の育成

知的財産の活用による産業の活性化を図るため，知的創造サイクルの普及を担う人材の育成を図る
○【継続•再掲】発明奨励活動等推進事業費（発明奨励活動等支援事業）（4，822）（一社）山形県発明協会に対し，発明奨励活動等推進事業費補助金を交付

「やまがた科学技術政策大綱（改訂）」の重点推進方策 詳細項目に係る関連事業 平成25年度実績と平成26年度の対応

| 詳細項目 | 事業名 | 事業の概要 | H25年度 予算額（千円） （一般財源） | H25年度の実績（見込み） | H26年度の対応 | $\begin{gathered} \mathrm{H} 26 \text { 年度 } \\ \text { 予算額(千円) } \\ \left(一 \text { 般財源) }^{2}\right. \end{gathered}$ | 所管課 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 1 山形の「強み」を生み出す研究開発の推進 |  |  |  |  |  |  |  |
| ＜施策1＞産業の活力と暮らし向上につながる研究開発の推進 |  |  |  |  |  |  |  |
| （1）産業の活力を生み出す研究開発の推進 |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 有機エレクトロニクス関連産業集積促進事業費 | 有機EL照明パネルの製品開発への支援•有望市場開拓活動の展開，山形大学有機 エレクトロニクスイノベーションセンターの運営•製品開発支援 | $\begin{gathered} 462,280 \\ (329,280) \end{gathered}$ | （1）照明用有機ELパネル商品化実証事業の実施 （2）企業二ーズに基づくカスタムパネルの試作開発の実施 <br> （3）イノベーションセンター運営支援の実施 （4）有機エレクトロニクス分野への参入段階から先導的な製品導入までの総合的支援の実施 | 【継続】有機EL照明パネルの製品開発へ の支援•有望市場開拓活動の展開，山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセ ンターの運営•製品開発支援 | $\begin{gathered} 422,097 \\ (297,097) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 超精密等技術融合プロセ ス開発事業費 | 超精密加エプロジェクトの成果とMEMS技 <br> 術等を融合した新たな加工技術•工程の開 <br> 発 | $\begin{gathered} 4,012 \\ (4,012) \end{gathered}$ | 研究課題4件を実施 | ［継続］研究課題3件を実施 | $\begin{gathered} 6,235 \\ (6,235) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 自動車キーテクノロジー支援研究開発事業費 | 自動車製造に係る新技術の研究開発 | $\begin{gathered} 3,034 \\ (3,034) \end{gathered}$ | 研究課題2件を実施 | 【継続】研究課題2件を実施 | $\begin{aligned} & 1,764 \\ & (693) \end{aligned}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | やまがた発酵食品産業振興事業費 | 本県の地域資源である米，果物，野菜，畜肉に付加価値をもたらす発酵食品の開発 | $\begin{gathered} 4,885 \\ (4,849) \end{gathered}$ | 研究課題6件を実施 | 【継続】継続研究課題5件を実施するととも に新たに研究課題1件を実施 | $\begin{gathered} 8,478 \\ (8,444) \end{gathered}$ | 業戦略技術振興課 |
|  | 費 | $\left\lvert\, \begin{aligned} & \text { 共同研究など県内企業の技術的課題に対 } \\ & \text { 応した怵支援の実施 }\end{aligned}\right.$ | $\begin{gathered} 86,078 \\ (26,345) \end{gathered}$ |  | 【継続】ものづくり製品化支援事業 17件 ものづくり現場サポート事業 900件技術開発改善研究 14件 を予定 | $\begin{gathered} 88,933 \\ (27,440) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 工業技術センター技術実用化促進事業費 | 企業への技術移転に向けた先進的技術に よる試作品開発の実施 | $\begin{gathered} 22,575 \\ (7,525) \end{gathered}$ | 試作品開発の実施に向けた設備整備（顕微FT －IRシステムの購入） | 【終了】 | － | 工業戦略技術振興課 |
|  | 工業材料試験事業費 | ```企業から工業技術センターに依頼される試 験のうち, 金属材料, コンクリート, 骨材, 繊維, 機械部品, 木工製品に係る試験分 析``` | $\begin{gathered} 13,720 \\ (0) \end{gathered}$ | 試験分析9，081点（1月末） | ［継続］試験分析11，000点 | $\begin{gathered} 13,782 \\ (0) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 次世代基幹産業創生事業費 | 合成クモ糸の事業化推進に向けた支援策調查，新素材の評価と分析技術に向けた 装置類の整備 | － | － | 【新規】偏光龧微鏡，引張試験機，ジジタル マイクロスコープの購入及空調設備修繕 | $\begin{gathered} 38,670 \\ (38,670) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 先端生命科学研究所教育研究支援事業費 | 慶應義塾大学先端生命科学研究所におけ る教育研究活動の支援 | $\begin{gathered} 350,915 \\ (175,000) \end{gathered}$ | 先端生命科学研究所への教育研究活動を支援，第3期支援に係る研究成果等の評価 | 【継続】先端生命科学研究所への教育研究活動を第4期として支援 | $\begin{gathered} 350,100 \\ (175,000) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | オリジナル品種開発事業費 | 本県農産物の優れた独自性を確保し，「山形ブランド」をさらに確固たるものとするた めの，優良な新品種の開発 | $\begin{gathered} 21,160 \\ (17,711) \end{gathered}$ | 水稲，オウトウ，セイヨウナシ，リンゴ，リンドウ， イチゴについて新品種開発に取り組んだ。（主食用水稲新品種「山形95号」，飼料用水稲新品種「山形糯110号」を品種登録出願） | 【継続】水稲，オウトウ，セイヨウナシ，リン ゴ，リンドウ，イチゴについて新品種開発に継続して取り組む。 | $\begin{gathered} 20,231 \\ (16,605) \end{gathered}$ | 農業技術環境 課 |
|  | バイオテクノロジー実用化事業費 | バイオテクノロジー技術を利用し，本県農産物の産地力を強化するための技術開発 | $\begin{aligned} & 25,926 \\ & (9,468) \end{aligned}$ | ウイルスフリー苗の供給や，ゲノム情報を利用し たイネや果樹のDNAマーカー選抜法の開発に取 り組んだ | 【継続•一部新規】ウイルスフリー苗の供給，DNAマーカ一開発等に取り組む。 | $\begin{aligned} & 14,798 \\ & (9,236) \end{aligned}$ | 農業技術環境 課 |
|  | 園芸作物基盤技術開発事 | 果樹，野菜，花きの産地力を強化するため の省力，低コストで高品質，安定生産がで きる技術開発 | $\begin{gathered} 22,411 \\ (6,265) \end{gathered}$ | 研究課題11課題（県単4，外部資金7） <br> 新たな技術開発数（見込み） 5 件 <br> －すいかトンネル移動栽培における8本整枝4果 どり多収栽培生育指標 <br> －パプリカの光照射追熟のための簡易光照射棚 の構造と経済性 | 【継続，—部新規】研究課題14課題を実施 （バラの局所加温と炭酸がス施用技術，す いかの高品質•多収技術等） | $\begin{gathered} 30,421 \\ (10,351) \end{gathered}$ | 農業技術環境 課 |
|  | 土地利用型作物技術開発事業費 | 稲，大豆等土地利用型作物の産地力を強化するための，省力，低コストで安定した生産ができる技術開発 | $\begin{gathered} 18,194 \\ (16,020) \end{gathered}$ | 研究課題6課題（県単4，外部資金2）新たな技術開発数（見込み） 10 件 <br> －大豆の収量を向上させる小畋立て深層施肥播種機 <br> －大豆「シュウリユウ（東北166号）」の品種特性 | 【継続，一部新規】研究課題6課題を実施 （県育成の酒米用有望系統「山形酒104号」 の栽培技術，大豆有望品種「シュウリュウ」 の栽培技術等） | $\begin{gathered} 15,083 \\ (13,542) \end{gathered}$ | 農業技術環境 課 |
|  | 県農産物を活用した加工食品開発強化事業費 | 県産農産物の利用拡大と付加価値向上の ため桟開発 | $\begin{gathered} 4,680 \\ (2,814) \end{gathered}$ | 研究課題3課題（県単2，外部資金1） <br> 新たな技術開発（見込み） 1 件 <br> －酒米白糠の特性とデンプン分解酵素による糖化液製造 | 【終了】 | － | 農業技術環境 課 |
|  | 農林水産物食品加工利用技術開発事業費 | 山形県産の農産物を活用した新商品創出 のための加工技術の開発と技術指導の実 施 | $\begin{gathered} 2,164 \\ (2,129) \end{gathered}$ | 研究課題3課題（県単3） <br> 新たな技術開発（見込み）6件 <br> －染色用途べにばな加工品「紅餅」の高品質加工技術 <br> －小型除湿機を利用した効率的な「紅餅 1 乾燥方法 <br> －やまぶどうピューレの製造方法と品質特性 | 【継続】農産物加工開発技術指導及び研究課題 3 課題を実施 | $\begin{gathered} 5,541 \\ (3,664) \end{gathered}$ | 農業技術環境 課 |
|  | 試験研究費（畜産関連） | 山形牛のおいしさを評価するための評価手法の確立，自給飼料を活用した生乳生産技術の検討，やまがた地鶏の飼料用米給与，豚への高消化性飼料米の給与によ る，良食味畜産物の効率的な生産を図る | $\begin{aligned} & 10,707 \\ & (7,254) \end{aligned}$ | 研究課題14件，（受託3件）を実施。新たな技術開発4件：和牛肉の香りと呈味成分 の一斉成分分析に基づく牛肉の食味指標の確立等 | 【継続】澎軟化粐米の加工•調整ならびに給与技術を検討 <br> 【新規】消化菅内環境を良好に保つ高消化性膨順発酵飼料による肥育牛の飼料効率向上技術の開発等 | $\begin{aligned} & 35,998 \\ & (6.602) \end{aligned}$ | 畜摌課 |
|  | 試験研究費（森林関連） | 森林研究研修センターの試験研究費 | $\begin{gathered} 9,281 \\ (1,901) \end{gathered}$ | －研究課題 18 件（うち外部資金 8 件，国庫交付金 3件） <br> －新たな技術開発：2件（ワラビのカバークロップ効果を活用した低コスト再造林技術の開発等） | 【継続】10件（森林環境の維持増進技術の開発：6件，林木及び特用林産物の生産技術の開発4件） <br> 【新規】6件（山形県スギ林分収穫予測の精度向上に関する技術開発，震災後の海岸林造成方法の提案等） <br> －研究課題16件（うち外部資金6件，国庫交付金 3 件，受託試験1件） | $\begin{aligned} & 13,445 \\ & (2,093) \end{aligned}$ | 森林課 |
|  | 試験研究費（水産関連） | $\mid$ 水産試験場と内水面水産試験場の試験研 | $\begin{gathered} 6,036 \\ (4,869) \end{gathered}$ | 研究課題13件を実施。 <br> 新たな技術開発11件：最上川支流に遡上するア <br> ユの資源量推定技術など | 研究課題13件 <br> 【継続】8課題：栽培新魚種の種苗生産と放流に関する研究など <br> 【新規 15 課題：河川環境を総合的に利用し たサクラマスの増殖手法の開発など | $\begin{gathered} 8,644 \\ (6,648) \end{gathered}$ | 水産課 |
|  | 地域産地形成技術開発支援事業（村山産地研究室） | シャインマスカット幼木における商品果房率向上技術の開発 | $\begin{gathered} 156 \\ (156) \end{gathered}$ | 植物成長調整剤の高度利用による幼木の商品果房率向上技術を確立 | ［継続］植物成長調整剤の高度利用による商品果房率向上技術の現地実証と新たな技術の検討 | $\begin{gathered} 149 \\ (149) \end{gathered}$ | 村山総合支庁産業経済企画課 |
|  | 地域産地形成技術開発支援事業（最上産地研究室） | ラズベリーの栽培技術体系の確立山菜オリジナル品種の開発と生産技術の確立 | $\begin{gathered} 890 \\ (844) \end{gathered}$ | タラノメ，フキノトウ，ワラビの品種開発を実施。 ラズベリーの安定生産技術，収穫期延長技術の検討を実施。 | ［継続］同左 | $\begin{gathered} 765 \\ (718) \end{gathered}$ | 最上総合支庁産業経済企画課 |
|  | 地域産地形成技術開発支援事業（置賜産地研究室） | 地域特産作物「薄皮丸なす」の安定生産技術の確立 | $\begin{gathered} 851 \\ (797) \end{gathered}$ | 研究課題2件を実施 新たな技術開発 1 件： 薄皮丸なすの熟栽培技術 | 【終了】 | $828$ (763) | 置賜総合支庁産業経済企画 |
|  |  | 大型トンネルを利用したアスパラガス半促成栽培技術の確立 |  | － | 【新規】アスパラガスの大型トンネル栽培技術について研究開発 |  |  |


|  | 地域産地形成技術開発支援事業費 <br> （庄内産地研究室） | 庄内地域における園芸作物の産地強化 のための安定生産技術等の確立 | $\begin{gathered} 623 \\ (586) \end{gathered}$ | 研究課題2件（県単2件）を実施。 <br> 1 えだまめのさや汚摃軽減対策技術開発 <br> 2 カキの加工原料需要に対応した超省力着果管理技術の開発 <br> 新たな技術開発2件（見込み）：えだまめの莢表面に発生する円形•大型病斑の見分け方と分離 される系状菌，えだまめの菳表面に発生する病害の病原別発生割合と発生しやすい生育ステー | 【継続】カキの加工原料需要に対応した超省力着果管理技術の開発に取組む。【組替新規】えだまめ莢汚損症状を軽減さ せる栽培体験の確立に取組む。 | $\begin{gathered} 655 \\ (613) \end{gathered}$ | 庄内総合支庁 $\left.\begin{array}{l}\text { 産業経済企画 } \\ \text { 課 }\end{array}\right]$ （ |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  |  |  | $\begin{aligned} & \hline 1,070,578 \\ & (620,859) \end{aligned}$ |  |  | $\begin{aligned} & \hline 1,076,615 \\ & (624,563) \end{aligned}$ |  |
| （2）安全で豊かな社会につながる研究開発の推進 |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 工業技術センターにおける技術情報の収集•調査，エネルギ一専門技術者の食成，先導的な研究開発の推進 | $\begin{aligned} & 2,015 \\ & (2,015) \end{aligned}$ |  | 【終〕】 | － | 工業戦略技術振興訸 |
|  | エネルギー関連技術研究開発事業 | 再生可能エネルギー分野のシリコン加工と ペレットストーブ閏連技術，省エネ分野の各種センサ開発とデータ処理および解析技術の開発 | － | － | ［組替新規］ 継続研究課題 3 件，新規研究課題2件を実施 | $\begin{gathered} 6,481 \\ (6,227) \end{gathered}$ |  |
|  | 地球温暖化対応プロジェク卜総合戦略事業費 | 「地球温暖化に対応した農林水産研究開発ビジョン」に基づき，地球温暖化やそれに伴う気象変動に対応した技術開発及び確立された技術や開発品種等の生産現場で の実証，普及定着 | $\begin{gathered} 16,774 \\ (15,964) \end{gathered}$ | 研究課題9課題（県単8，外部資金1） <br> 新たな技術開発数（見込み） 6 件 <br> －（例）気象予報データを活用した水稲刈取り開始時期の予測 <br> －（例）加温設備と温水かけ流しプールを併用し た水稲の高温耐性検定法 | ［継続研究課題11課題を実施 | $\begin{gathered} 18,465 \\ (17,938) \end{gathered}$ | 農業技術環境 <br> 联 |
|  | 環境と調和した農業技術開発事業 | 環境負荷軽減による生態系に配慮した持続的生産技術体系を確立し，高付加価値 な農産物を生産するための技術開発 | $\begin{aligned} & 14,107 \\ & (5,729) \end{aligned}$ |  | 【継続，—部新規】研究課題10課題を実施化の把握等） | $\begin{aligned} & 12,910 \\ & (4,220) \end{aligned}$ | 農業技術環境 <br> 課 |
|  | 農業と太陽光発電両立実証事業費 |  |  |  |  | $\begin{gathered} 22,556 \\ (22,401) \end{gathered}$ | 農業技術環境 <br> 誁 |
|  | 衛生研究所調查研究•研修 | 衛生研究所における調査研究費及び設備整備費等 | $\begin{gathered} 14,667 \\ (13,579) \end{gathered}$ | 研究課題6件（受託2件）を実施主な実績：シークエンス法によるマイコプラズマ菌の迅速検出系の碓立，遺伝子学的手法によ るコロナウススの椎出系の碓立 | 【新規1（1）ヒスタミンによる食中毒防止のた めの研究，（2）エンテロウイルス71型の分子疫学研究 <br> ［継続】4課題を実施 | $\begin{gathered} 14,792 \\ (13,704) \end{gathered}$ |  |
|  | 環境科学推進事業 | バイオマスボイラー等の焼却灰の六価クロ ムに関する研究 | $\begin{aligned} & 1,222 \\ & (0) \end{aligned}$ | 県内 15 施設から暁却灰を採取し，六価クロムの検出状況をみる。また六価クロム発生要因を抽出する。 | 【継続】六価クロム発生抑制のための燃焼方法を探究する。また燃料又は炉材に起因すれば，材質の検討を行う。 | $\begin{aligned} & 1,112 \\ & (0) \end{aligned}$ | 環境企画課 |
|  |  |  | $\begin{gathered} 48,785 \\ (37,287) \end{gathered}$ |  |  | $\begin{gathered} 76,316 \\ (64,490) \end{gathered}$ |  |
| ＜施策2＞実用化を見据えた効率的•効果的研究展開 |  |  |  |  |  |  |  |
| （1）研究開発マネジメントの推進 |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 研究開発推進基盤構築事業費 | （公財）山形県産業技術振興機構に対する運営支援，産学官連携による研究開発 コーディネートの推進 | $\begin{gathered} 58,233 \\ (58,233) \end{gathered}$ | $\begin{aligned} & \hline \text { (公財)山形県産業技術振興機構に対し運営費 } \\ & \text { 補金をを竍 } \\ & \text { を配置 } \end{aligned}$ | ［継続】産学官連携コーディネーターを3名 | $\begin{gathered} 59,443 \\ (59,443) \\ \hline \end{gathered}$ | 振興訸 |
|  |  |  | $\begin{gathered} 58,233 \\ (58,233) \end{gathered}$ |  |  | $\begin{gathered} 59,443 \\ (59,443) \end{gathered}$ |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | デザイン振興事業費 | 県内企業のデザイン活用を促進するため の支援体制の充実，企業と東北芸術工科大学の協働による商品開発への支援 | $\begin{gathered} 5,350 \\ (5,350) \end{gathered}$ | 県内企業（製造業）と東北芸術工科大学が協働 して行うデザインを活用した商品開発支援の実施（5社） | 【継続】支援対象企業を 8 社に拡充し，引き続き実施予定 | $\begin{aligned} & 6,400 \\ & (6,400) \end{aligned}$ | 裏業政策課 |
|  | 自動車閏連産業共同開発 | 自動車メーカー等のニーズに対応した県内企業における製品開発等の支援 | $\begin{gathered} 14,268 \\ (14,268) \end{gathered}$ |  | 【終了】「やまがた地域産業応援基金」を活用した先行技術開発支援（中小企業対象） に移行。 | $\begin{gathered} 120,000 \\ (0) \end{gathered}$ | 工業戦略枝術㰮興課 |
|  | 半導体関連産業集積促進事業費 | 半導体関連企業，関係機関が連携し，取引拡大や情報共有などの取組みを実施。 | $\begin{aligned} & \left.\begin{array}{c} 1,219 \\ (1,219) \end{array}\right) \end{aligned}$ | 半導体製造装置•材料の総合展示会である「セミ コン・ジャパン」に東北6県が共同で展示ブース を設置し，取引拡大の機会を提供。 | ［継続】 <br> セミコンジャパンへの共同出展半導体業況セミナーの開催 | $\begin{aligned} & 1,200 \\ & (1,200) \end{aligned}$ | 振興訸 |
|  | バイオクラスター形成促進事業費 | 先導的なバイオ研究成果の活用促進のた めの関係機関の連携強化•共同研究や研究者の交流推進 | $\begin{gathered} 7,081 \\ (0) \end{gathered}$ | バイオクラスター形成推進会議の開催 コーディネーター2名を配置研究発表会，研究交流会，連絡会議を開催 | 【拡充】 <br> バイオイノバーション促進事業を統合等 <br> - コーディネーター1名分 <br> - 合成クモ系繊維の事業化に向けた研究交流の場の設定（新） <br> －共同研究シーズ事業化支援事業の実施 （継続） | $\begin{gathered} 29,375 \\ (0) \end{gathered}$ |  |
|  | バイオイノベーション促進事業費 | 慶應先端研の研究結果の事業化に向けた専門的なコーディネート機能の整備，県内企業に対するメタボローム解析技術の普及 から共同研究の成果を活用した事業化ま での総合的な支援制度の創設 | $\begin{gathered} 19,299 \\ (0) \end{gathered}$ | 1）專門的なコーデイネーターを配置•育成（IM研修に派遣） 2）共同研究シーズ事業化支援事業によりメタボ ローム解析技術の普及から事業化までを支援 | 【廃止】 <br> バイオクラスター形成促進事業に統合 | － |  |
|  |  |  | $\begin{gathered} 47,217 \\ (20,837) \end{gathered}$ |  |  | $\begin{aligned} & 156,975 \\ & (7600) \end{aligned}$ |  |
| ＜施策3＞県試験研究機関のマネジメント機能の拡充 |  |  |  |  |  |  |  |
| （1）マネジメント・システムの改善，（2）総合力の向上 |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 科学技術総合推進事業費 | 科学技術会議の運営，研究評価委員会の開催及びアドバイザリーボードの実施 | $\begin{gathered} 3,152 \\ (3,152) \end{gathered}$ | 科学技術会議の開催1回研究評価委員会の開催2回 アドバイザリーボードの開催 28 回 | ［継続1外部専門家の助言や研究評価委員等を活用し，より効果的な研究マネジメント を目指す。 | $\begin{gathered} 3,128 \\ (3,128) \end{gathered}$ |  |
|  |  |  | $\begin{aligned} & 3,152 \\ & (3,152) \\ & \hline \end{aligned}$ |  |  | $\begin{gathered} 3,128 \\ (3,128) \end{gathered}$ |  |
| 2 科学技術を支える人材の育成•養成 |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 未来の科学人材育成事業費 | PTA等が主倠する科学教窒等へのサイエ ンス・ナビゲーターの派遣や夏休み親子科学教窒の開催，高校生を対象とした科学教室サポーター養成講座の開倠等 | $\begin{aligned} & 1,952 \\ & (1,952) \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \text { サイエンス・ナビゲーターの派遣: } \\ & \text { 46教室 4, 2388名参加見込) } \\ & \text { 夏休み親子科学教室•18教空 } 405 \text { 名参加 } \\ & \text { 科学教室サポータ一養成講座: 4講座 } 67 \text { 名参 } \\ & \text { 科学教育連携会議の開催: 1回 } \end{aligned}$ | 【継続】サイエンス・ナビゲーターの派遣，科学教育関係機関の連槜会議のmi （その他は終了） | $\begin{gathered} 406 \\ (406) \end{gathered}$ | $\underset{\text { 工業戦略賏榇 }}{\text { 林 }}$ |
|  | 産業科学館管理運営費 | 産業科学館の管理運営 | $\begin{gathered} 73,933 \\ (73,933) \end{gathered}$ | 自主企画イ゙ント，ワークショップ等の実施 | ［継続］自主企画イベント，ワークショップ等 の実施 | $\begin{gathered} \hline 77,746 \\ (77,746) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 科学技術普及啓発事業費 | スライイムマイスターなどを活用したイベント の実施 | $\begin{gathered} 2,870 \\ (0) \\ \hline \end{gathered}$ | スライムマイスターを活用したイベントの開倠6回 | 【終了】 | － |  |
|  | 産業科学館展示企業意識調査•PR事業費 | 産業科学館の展示企業に対する意識調査，利用者である中学校•高等学校への ニーズ調査の実施及び若者世代への企業展示コーナーのPR | $\begin{aligned} & 4,334 \\ & (0) \end{aligned}$ | 企業への訪問調査 1 件企業への書面調査1件中学校への書面調査 1 件高等学校への書面調査 1 件魅力向上策の提案 | 【終〕】 | － |  |


|  | 科学コミユニケーター人材育成事業 | サイエンス・ナビゲーター人材のレベルアッ プを図るための研修及び当該人材が経験 を積むことができる科学体験学習機会の企画•立案•開催運営 | $\begin{gathered} 4,827 \\ (0) \end{gathered}$ | サイエンス・ナビを対象とした研修の開催 5回科学体験学習機会の開催 5 回科学実験教室開催マニュアルの作成 | 【終了】 | － | 工業戦略技術振興課 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 科学技術情報解析調整事業費 | 科学技術イベントに関する詳細データの収集，電子データ化による整理及び情報発信。サイエンス・ナビゲーター派遣事業の調整等 | $\begin{gathered} 1,701 \\ (0) \end{gathered}$ | HP掲載データの収集，整理，入力及び情報発信 | 【終了】 | － | 工業戦略技術振興課 |
|  | 一般行政費（発明くふう展共催負担金） | （一社）山形県発明協会及び南陽市と「山形県発明くふう展」を共催 | $\begin{gathered} 90 \\ (90) \end{gathered}$ | 10／18～20，南陽市で「山形県発明くふう展」を開催。85団体，249点の参加。 | ［継続］村山市において開催予定 | $\begin{gathered} 90 \\ (90) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  |  |  | $\begin{gathered} 89,707 \\ (75,975) \end{gathered}$ |  |  | $\begin{gathered} 78,242 \\ (78,242) \end{gathered}$ |  |
| （2）若者の科学技術に対する理解の盢進 |  |  |  |  |  |  |  |
|  | $\left\lvert\, \begin{aligned} & \text { スーパーサイエンスハイス } \\ & \text { クール支援事業費 } \end{aligned}\right.$ | スーパーサイエンスハイスクール指定校に対する非常勤講師や事務員の配置支援 | $\begin{gathered} 3,547 \\ (59) \end{gathered}$ | 鶴岡南高等学校 非常勤講師1名事務員1名 配置米沢興譲館高等学校 事務員1名 配置 | 【継続】 <br> 「科学探究人材育成事業」として，SSH指定校支援の継続と，「科学の甲子園山形県大会」の開催 | $\begin{aligned} & 3,802 \\ & (520) \end{aligned}$ | 高校教育課 |
|  | 発明奨励活動等推進事業費 <br> （青少年の創造性開発育成事業） | 県内の工業系高校生が地域の企業の技術的指導を受けながら，高度なものづくり活動を行うことで，県内企業に対する理解と関心を深め，ものづくり人材としての定着を目指す | $\begin{gathered} 3,426 \\ (3,426) \end{gathered}$ | 工業系高校 11 校が参加。2／20に成果発表会を開催。 | 【継続】 <br> 25 年度の事業評価を行い， 26 年度も実施 | $\begin{gathered} 3,419 \\ (3,419) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | ものづくり人材定着促進事業費 | 県内の高等教育機関の学生を対象に，県内の魅力ある企業を巡るバスツアーの実施 | $\begin{gathered} 304 \\ (304) \end{gathered}$ | 企業訪問バスツアー1回（4日間）開催 | ［終了】 | － | 雇用対策課 |
|  | 地域連携技術力強化事業費 | 公開講座，産業教育事業，工業高校教員等技能研修 | $\begin{gathered} 849 \\ (427) \end{gathered}$ | 公開講座25コース実施，産業教育事業（共同研究） 3 件実施，工業高校教員技能研修 8 校 | 【継続】公開講座39コース実施，産業教育事業（共同研究） 1 件実施，工業高校教員技能研修11校 | $\begin{aligned} & 1,060 \\ & (479) \end{aligned}$ | 㕍用対策課 |
|  | 産業技術短期大学校の管理運営（施設設備整備等を含む） | $\underset{\text { 備整備等 }}{\text { 業技術短期大学校の管理運営，設 }}$ | $\begin{aligned} & 305,803 \\ & (81,028) \end{aligned}$ | 産業技術短期大学校の管理運営に要する経費 （山形校：定員210名，庄内校：120名） | 【継続】産業技術短期大学校の管理運営に要する経費 （山形校：定員210名，庄内校：120名） | $\begin{aligned} & 297,184 \\ & (78,964) \end{aligned}$ | 雇用対策課 |
|  | 農業大学校教務費 | 即戦力となる農業経営者を育成するため，実践的な農業技術•経営管理に主眼を置 いたカリキュラムの実施 | $\begin{gathered} 15,999 \\ (10,600) \end{gathered}$ | 学生数 1学年57名，2学年49名 <br> 実践教育に主眼を置いた担い手教育を実施 <br> - 実践的なカリキュラムの充実 <br> - 農産物加工実習による商品づくり <br> - 企業的経営感覚の養成 <br> - 海外研修教育 <br> など | 【継続】 <br> 即戦力となる実践的な農業技術•経営管理能力を備えた農業経営者を育成する。 <br> - 実践的なカリキュラムの充実 <br> - 農産物加工実習による商品づくり <br> - 企業的経営感覚の養成 <br> - 海外研修教育 <br> など | $\begin{gathered} 15,999 \\ (10,702) \end{gathered}$ | 農政企画課 |
|  |  |  | $\begin{aligned} & 329,928 \\ & (95,844) \end{aligned}$ |  |  | $\begin{aligned} & 321,464 \\ & (94,084) \end{aligned}$ |  |
| ＜施策5＞若手等研究者，研究リーダーの発掘 |  |  |  |  |  |  |  |
| （1）若手等研究者，技術者の育成 |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 若手チャレンジ研究事業費 | 能力向上に向けた若手研究者への研究機会の提供 | $\begin{gathered} \hline 1,200 \\ (1,200) \\ \hline \end{gathered}$ | 5課题採択 | ［䋛続］5課題採択予定 | $\begin{gathered} 1,200 \\ (1,200) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 工業技術センター試験研究費（高度技術者育成事業） | 産業技術総合研究所や大学等に職員を派遣し，研究，指導能力の向上を図る | $\begin{gathered} 1,009 \\ (1,009) \end{gathered}$ | 京都工芸繊維大学及び富山県総合デザインセ ンターへ職員各1名派遣予定 | 【継続】東北大学及び産業総合研究所（つく ば）へ職員各1名派遣予定 | $\begin{gathered} 1,008 \\ (1,008) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 科学技術総合推進事業費【再掲】 | 科学技術奨励賞による県内若手研究者の表彰 | $\begin{gathered} 378 \\ (378) \end{gathered}$ | 米沢女子短期大学の加藤氏，機能性ペプチド研究所の水戸氏，山形大学大学院理工学研究科 の笹部氏，工業技術センターの鈴木氏の4名を表彰 | ［䋛続】原則として3名を表彰予定 | $\begin{gathered} 378 \\ (378) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 農業大学校教務費［再揭］ | 即戦力となる農業経営者を育成するため，実践的な農業技術•経営管理に主眼を置 いたカリキュラムの実施 | $\begin{gathered} 15,999 \\ (10,600) \end{gathered}$ | 学生数 1 学年 57 名， 2 学年 49 名 <br> 実践教育に主眼を置いた担い手教育を実施 <br> - 実践的なカリキュラムの充実 <br> - 農産物加工実習による商品づくり <br> - 企業的経営感覚の養成 <br> - 海外研修教育 <br> など | 【継続】 <br> 即戦力となる実践的な農業技術•経営管理能力を備えた農業経営者を育成する。 <br> - 実践的なカリキュラムの充実 <br> - 農産物加工実習による商品づくり <br> - 企業的経営感覚の養成 <br> - 海外研修教育 <br> など | $\begin{gathered} 15,999 \\ (10,702) \end{gathered}$ | 農政企画課 |
|  |  |  | $\begin{gathered} 18,586 \\ (13,187) \end{gathered}$ |  |  | $\begin{gathered} 18,585 \\ (13,288) \end{gathered}$ |  |
| （2）研究リーダーの発掘•育成 |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 科学技術総合推進事業費【再揭】 | 外部公募研究の推進，慶應先端生命科学研究所への研究員の派遣 | $\begin{gathered} 0 \\ (0) \end{gathered}$ | 公募型研究課題39件（うち新規16件）研究員の派遣1名 | 【継続】公募型研究課題の推進，研究員の派遣1名予定 | $\begin{gathered} 0 \\ (0) \end{gathered}$ | 工業戦略技術振興課 |
|  | 次世代ものづくり人材育成促進事業費 | 「ものづくり人材育成やまがた」を通じたも のづくり人材育成における産学官の連携強化 <br> 関係機関と連携し，各種研修のコーディ <br> ネートを行う人材の配置 | $\begin{aligned} & 5,351 \\ & (635) \end{aligned}$ | 次世代産業人材育成推進委員会開催等 <br> （公財）山形県産業技術振興機構にコーディネー <br> ター1名配置 | 【継続】次世代産業人材育成推進委員会開催及び人材育成を担うコーディネーターの配置等 | $\begin{gathered} 5,362 \\ (5,362) \end{gathered}$ | 雇用対策課 |
|  | ものづくり産業マネジメント人材育成事業費 | 県内中小企業の経営者•管理者を対象に，知識やスキルの習得，課題に対処する思 考の鍛鍊等を目的とした研修の実施 | $\begin{gathered} 2,453 \\ (1,763) \end{gathered}$ | マネジメント人材セミナー開催（1泊2日）経営者•管理者研修開催（5回） | 【継続】経営者•管理者を対象とした研修会 の開催 | $\begin{gathered} 1,617 \\ (1,317) \end{gathered}$ | 雇用対策課 |
|  |  |  | $\begin{gathered} 7,804 \\ (2,398) \end{gathered}$ |  |  | $\begin{gathered} 6,979 \\ (6,679) \end{gathered}$ |  |
| ＜施策6＞技術移転•事業化を促進する人材の斎成 |  |  |  |  |  |  |  |
| （1）技術移転•事業化を促進する人材の茼成 |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 技術者養成事業費 | 企業技術者のより高度な技術習得を目指 し，基礎から応用に至る生産技術に直結す る研修を行う。 | $\begin{gathered} 6,734 \\ (2,554) \end{gathered}$ | 技術者研修の開催 10 詸程 | 【継続】技術者研修の開催 10 詸程 | $\begin{gathered} 6,624 \\ (2,554) \end{gathered}$ | 雇用対策課 |
|  | ものづくり産業マネジメント人材育成事業費【再掲】 | $\begin{aligned} & \text { 県内中小企業の経営者•管理者を対象に, } \\ & \text { 知識やスキルに習得, 課題に対処する思 } \\ & \text { 考の鍛鍊等を目的とした研修の実施 } \end{aligned}$ | $\begin{gathered} 2,453 \\ (1,763) \end{gathered}$ | マネジメント人材セミナー開催（1泊2日）経営者•管理者研修開催（5回） | 【継続】経営者•管理者を対象とした研修会 の開催 | $\begin{gathered} 1,617 \\ (1,317) \end{gathered}$ | 雇用対策課 |
|  | 組込みソフトウェア競争力強化事業費 | 首都圏等への積極的な情報発信による取引拡大や，技術力強化のための技術者育成研修会等の実施 | $\begin{gathered} 3,170 \\ (2,927) \end{gathered}$ | 組込み総合技術展への出展支援組込み関連企業ネットワークの設立技術者研修開催（初級，中級等）等 | ［継続】組込み企業への新技術導入促進，組込み総合技術展への出展支援，技術者研修開催（初級，中級等）等 | $\begin{gathered} 3,684 \\ (3,264) \end{gathered}$ | 㕍用対策課 |
|  | 自動車関連部品開発人材育成事業費 | 県内自動車関連企業における部品の開発•提案に係るスキル研修等の実施 | $\begin{gathered} 1,937 \\ (1,687) \end{gathered}$ | 経営者向けセミナー1回，実務担当者向け研修 2回（4日 $\times 2$ 回） | 【組替新規】専門技術研修，資質向上研修等の実施 | $\begin{gathered} 6,639 \\ (6,152) \end{gathered}$ | 雇用対策課 |
|  | 自動車関連企業研修等活用促進事業費 | 研修受講経費の一部助成等による，自動車関連企業における研修活用の促進 | $\begin{gathered} 7,857 \\ (2,578) \end{gathered}$ | 企業訪問等による研修活用の促進，研修受講経費の一部助成 | 【継続】研修受講経費の一部助成 | $\begin{gathered} 2,717 \\ (2,717) \end{gathered}$ | 雇用対策課 |
|  | 産業技術短期大学校の管理運営（施設設備整備等を含む）【再掲】 | 県立産業技術短期大学校の管理運営，設備整備等 | $\begin{array}{r} 305,803 \\ (81,028) \end{array}$ | 産業技術短期大学校の管理運営に要する経費 （山形校：定員210名，庄内校：120名） | 【継続】産業技術短期大学校の管理運営に要する経費 <br> （山形校：定員210名，庄内校：120名） | $\begin{array}{r} 297,184 \\ (78,964) \end{array}$ | 雇用対策課 |
|  | 職業能力開発施設の管理運営（施設設備整備等を含 む） | 県立職業能力開発施設の管理運営，設備整備等（一部再揭） | $\begin{gathered} 50,061 \\ (20,421) \end{gathered}$ | 職業能力開発専門校の管理運営に要する経費 （能開校：定員 90 名，庄内センター：20名） | 【継続】職業能力開発専門校の管理運営に要する経費 <br> （能開校：定員 90 名，庄内センター：20名） | $\begin{gathered} 54,634 \\ (21,523) \end{gathered}$ | 㕍用対策課 |



## 重点推進方策の目標指標の実績について

## 1．山形の「強み」を生み出す研究開発の推進

1）県が推進するプロジェクト研究

| 目標 | 3 件（H24～27年度まで） |
| :---: | :---: | :--- |
| 実績 | 2 件（H26．3 末現在） |
| （経済産業省 | 戦略的基盤技術高度化支援事業： 2 件） |

2 ）県内企業との技術力向上のための共同研究数

目標 1 4件／年度
実績 19 件（H26．3末現在）

3 ）農林水産業の生産力強化 新品種•新技術開発数

平成 2 3 年度から平成 3 1 年度までの累計 目標
（山形県農林水産業振興計画による）実績

112 件（H23～31年度まで）
46 件（H23～24年度）
36 件（H26．3末現在）
累計 79 件

## 2．科学技術を支える人材の育成•養成

1）科学教室等の開催機関•団体数
目標 50 機関•団体（H27年度まで）
実績 39 機関•団体（H26．3末現在）
（親子科学教室を開催する県試験研究機関等 18 機関，子どもの「科学する心」連携会議メン
バー 11 機関•団体，「科学の花咲く」メンバー 10 機関，合計 39 機関•団体）

2）サイエンス・ナビゲーター登録者数および科学コミュニケータ一認定者数

- サイエンス・ナビゲーター登録者数 実績 94 人（H26．3 末現在）
- 上級マイスター資格取得者 実績

12 人（H26．3末現在）
（やまがた「科学の花咲く」プロジェクトにおける上級マイスターのらち，サイエンス・ナビゲーター末登録者）
合計 106 人
【参考】 科学教室サポーター養成講座受講生 実績 1 1 8 人（67 人／H25 年度）
3 ）公募型課題の実施件数

目標 45 件／年度
実績 37 件（H26．3末）
（うち継続課題 30 件，新規課題 7 件（一覧参照））

## 3．知的財産の戦略的な活用の促進

1）特許等支援（活用）件数
目標 30 件／年
実績 76 件（H26．3末）
（一般社団法人山形県発明協会における知財専門家による支援（活用）件数）

2）県有特許の利用件数•企業等の共同出願件数 目標 20 件／年度
特許の許諾利用 実績企業等との共同出願数

## 実績

19 件
5 件（農林2件，工業3件）
合計 21 件

